



1 リビング（和室）とダイニング・キッチン（洋室）を繋げるキッチンカウンターは、全面扉付収納。



2 和室の雰囲気を残した畳のリビングは子育てにも便利



3 母と子を繋ぐ



4 廊下



5 障子は古建具 大和天井や床は家主が塗装



6 浴室



A

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

- ・家主は数奇屋風住宅の雰囲気を感じて中古物件を購入。
- ・茶室の炉や水屋等日本家屋の良さ残しつつ、子育てや家事がしやすい暖かい現代的な生活を送ることを希望されました。
- ・キッチン家を家の中心に据え、小さい子供を育てる環境を第一に考え計画しました。（もうすぐ第2子が生まれる予定）
- ・箱階段状のキッチンカウンターは座れたりのぼれたりし、子供の居場所になっています。
- ・リビングとDKを繋げる際、キッチンカウンターや軒が互いの領域に侵入し合うようにデザインするなど、両室の空間の重心の高さを意識しました。
- ・塗装は天井、床を含め全て施主が友人と行き、障子は古建具屋で家主が見つけて購入したものです。
- ・ご主人からは元の雰囲気を残したこと、奥様からは使いやすい動線に対して特に満足の言葉を頂きました。

性能向上の特性
温熱性能、耐震性能

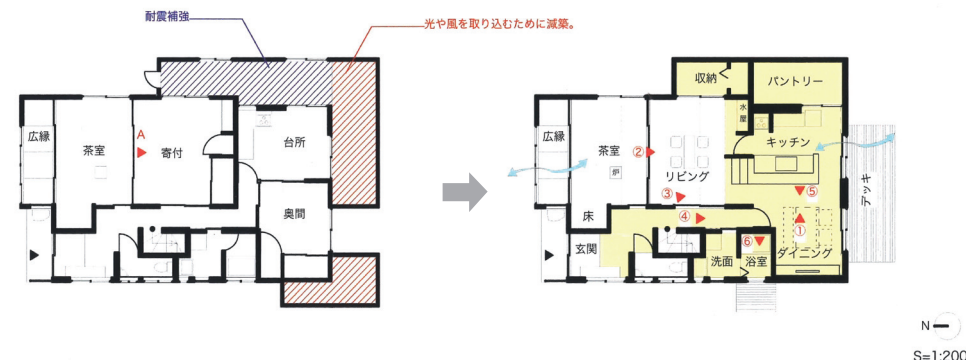
特に配慮した事項
以前増築されていた部分について耐震性を考慮し、一部撤去（減築）、一部構造補強を行った。外壁（土壁）の内側や床下に耐震材を施工した。

データ

所在地	京都府京都市	築後年数	35 年	施工期間	60 日間
該当工事面積	43.80 m ² / 総工事床面積	43.80 m ²	該当部分工事費	680 万円 / 総工事費	780 万円
居住者構成	15 歳以上 65 歳未満： 2 人 / 65 歳以上： 1 人 / 15 歳未満： 人 / ベット：				
設計会社	フジタケイ建築設計室				
施工会社	(有) コンフォートライフ				
	担当者 藤田 慶				
	担当者 奥田 拓司				

リフォーム前

リフォーム後



N
S=1:200

リフォーム部位： 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分